

第 616 回：自己紹介 (MS)

みなさん、はじめまして。水曜日の 14:30-17:30 のラーニングアドバイザー (LA) を担当いたします、修士課程 2 年、英語学専攻の S と申します。どうぞよろしく願いいたします。

大学院では、過去の文学作品を題材に言語学的な分析を行い、当時の言語の様相を明らかにすることに取り組んでいます。具体的に、15 世紀の英語詩を題材に一人の相手に二人称代名詞の単数形 (Thou) の複数形 (Ye) いずれかを選んで呼びかけるという用法の規則性を研究しています。これは 13 世紀後半にフランス語から英語に借用された用法で、一人の相手呼びかける際は必ずこの使い分けが存在しました。現代のドイツ語 (Du/Sie)、ロシア語 (Ty/Vy)、イタリア語 (Tu/Lei/Voi/Loro)、フランス語 (Tu/Vous) では、疎遠さ・敬意と緊密さ・親愛の念といった指標をもとに規則的に使い分けられていることが知られています。ですが、当時の英語では特定の文脈における人間関係や感情の推移に応じて流動的に変化し得たという点で特徴的といえます。経験則的に、相手におべっかを使うとき、怒って罵倒するとき、感情が昂っているとき、恋人と話すときに普段とは違う用法を観察できます。この時代の英語でしか観察できない具体例をもとに、その時々用法の機微を捉え、記述し一般化させていく作業に大きなやりがいを感じています。

自己紹介はこの程度にして、LA がどのようなものを外大図書館のウェブサイトを用いて説明していきます (神戸市外国語大学図書館、2026a)。まず、LA (「ラーニン

グアドバイザー」) とは所定の時間帯に「図書館ラーニングコモンズ LA デスク」において、学習相談にお答えする「大学院生スタッフ」の名称です。

業務内容の一つとして、「学部生・2 部生・大学院生・研究生・科目等履修生」が「レポートや論文の書き方など」を対面で相談する制度が挙げられます (2026a)。これに加えて、メールでの学習相談も承っています (神戸市外国語大学図書館、2026b)。

学習相談以外にも、LA 通信の執筆にも取り組んでいます。図書館のウェブサイトから過去の通信が閲覧可能です (神戸市外国語大学図書館、2026)。私の場合は、主にレポートの書き方や、研究に便利なウェブサイト等を紹介しています。ほかにも、図書館でイベントを開催することもあります (神戸市外国語大学図書館、2025c)。

このように多彩な活動に取り組む LA ですが、具体的に LA を利用するメリットについて考えてみたいと思います。まず、教員には相談しづらいことであっても相談が可能です。次に、LA は元外大生であるからして、外大のことについてある程度知っています。最後に、利用に際して料金等は発生しません。私の指導教員がよく仰っていることですが、他人のアタマをタダで使える絶好の機会です。新年度で分からないことや不安なことがございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。それでは。

参考文献

神戸市外国語大学図書館、2026a。

「2026 年度前期大学院生スタッフへの学習

第 616 回：自己紹介（MS）

相談」.

最終アクセス日. 2026 年 4 月 17 日.

https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/news/2024_1.html.

神戸市外国語大学図書館. 2026b.

「2026 年度前期大学院生スタッフによるメール学習相談」.

最終アクセス日. 2026 年 4 月 17 日

<https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/news/2024.html>.

神戸市外国語大学図書館. 2025c.

「ラーニングアドバイザー（LA）」トークイベント実施のお知らせ」.

最終アクセス日. 2026 年 4 月 9 日

<https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/news/1a.html>.

神戸市外国語大学図書館. 2026.

「LA 通信」.

最終アクセス日. 2026 年 4 月 9 日.

<https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/about/pamphlet/la.html>.